

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年6月28日(2018.6.28)

【公表番号】特表2017-515511(P2017-515511A)

【公表日】平成29年6月15日(2017.6.15)

【年通号数】公開・登録公報2017-022

【出願番号】特願2017-512659(P2017-512659)

【国際特許分類】

C 12 N 1/00 (2006.01)

【F I】

C 12 N	1/00	F
C 12 N	1/00	D

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月11日(2018.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

容器中で、嫌気性微生物又は微好気性微生物を含有する試料、嫌気性微生物又は微好気性微生物の増殖を支持する所定体積の培地、及び酸素捕捉系を含む水性混合物を形成することであって、

前記酸素捕捉系が有効量のi)酸化還元酵素ファミリーの酵素及びii)前記酵素の基質を含み、

前記酸素捕捉系が、水和されると活性化され、それにより前記培地中の溶存酸素を、前記嫌気性微生物又は微好気性微生物の増殖を促進する濃度まで減少させ、

前記酵素が、アスコルビン酸オキシダーゼ及びラッカーゼからなる群から選択される

、

ことと、

前記水性混合物を、前記嫌気性微生物又は微好気性微生物の少なくとも1回の細胞分裂を促進する条件下でインキュベートすることと、を含み、

前記培地中の溶存酸素を前記嫌気性微生物又は微好気性微生物の増殖を促進する濃度まで減少させることが、前記培地中の溶存酸素を約100μM以下の濃度にまで欠乏させることを含む、方法。

【請求項2】

前記嫌気性微生物又は前記微好気性微生物の増殖を検出することを更に含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

微好気性微生物又は嫌気性微生物を培養するための培養システムであって、

有効量のi)アスコルビン酸オキシダーゼ及びラッカーゼからなる群から選択される、酸化還元酵素ファミリーの酵素及びii)前記酵素の基質と、

容器と、

前記嫌気性又は微好気性微生物の増殖を支持する所定体積の水性培地と、を含み、

前記有効量が、前記所定体積中の溶存酸素を微好気性微生物又は偏性嫌気性微生物の増殖を促進する濃度まで減少させるのに有効である、培養システム。

【請求項4】

密封可能な容器と、

i) アスコルビン酸オキシダーゼ及びラッカーゼからなる群から選択される酸化還元酵素ファミリーの酵素及び ii) 前記酵素の基質を含む酸素捕捉系と、を含む、キット。